

平成 18 年度取組結果の概要について

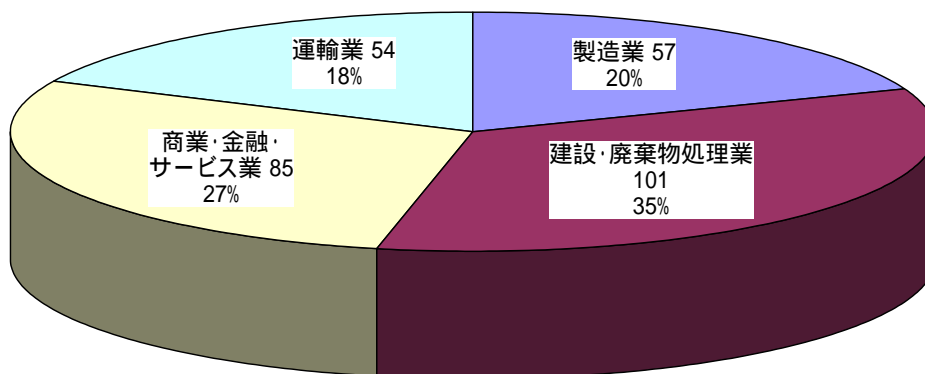
取組結果の概要について

1 結果報告書の提出状況

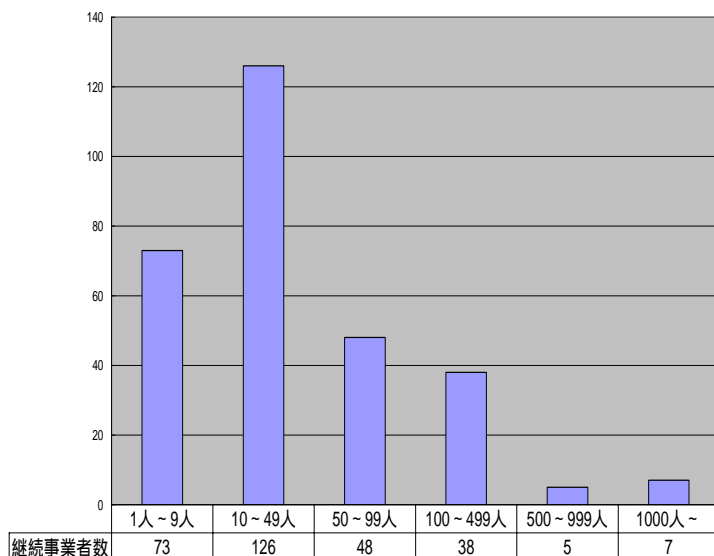
今回報告書の提出があった事業者（以下、「継続認定事業者」という。）数は297、平成18年度に認定された342事業者の87%に当たります。

継続認定事業者の内訳をみると、業種別では製造業57、建設・廃棄物処理業101、商業・金融・サービス業85、運輸業54と業種による大きなバラツキは見られませんでした（図表1）。一方、事業規模別の内訳では、従業員数100名未満の事業者数が247と全体の83%を占めるなど（図表2）、環境GSが多くの中小事業者の皆さんに受け入れられている様子が伺えます。また、図表3に事業所所在地の市町村別内訳を示しました。全12市を含む25市町村で環境GSが取り組まれています。市部が260、町村部が37と事業所数の多い市部が全体の88%を占めています。

図表1 業種別内訳



図表2 事業規模別内訳（従業員数）



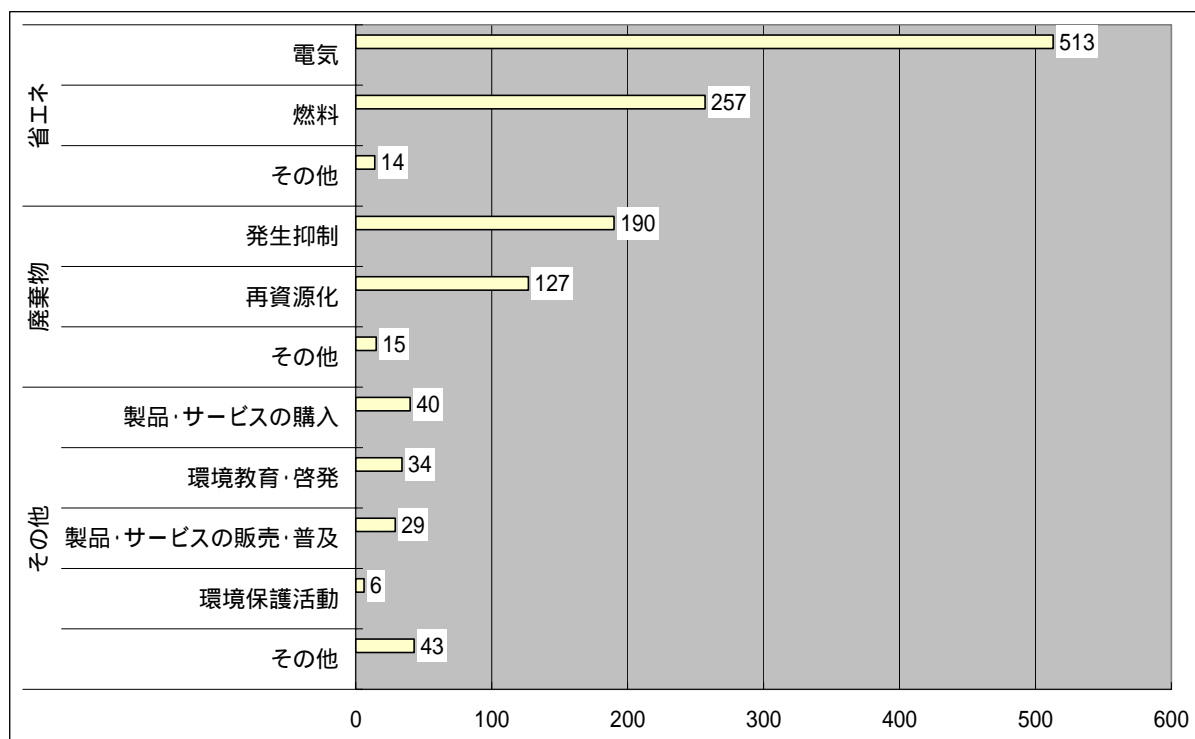
図表3 市町村別内訳

市町村	件数	市町村	件数
前橋市	61	吉井町	5
高崎市	42	中之条町	7
桐生市	32	長野原町	1
伊勢崎市	29	嬭恋村	1
太田市	29	高山村	1
沼田市	14	東吾妻町	3
館林市	5	片品村	2
渋川市	6	川場村	1
藤岡市	18	みなかみ町	4
富岡市	5	玉村町	4
安中市	8	板倉町	3
みどり市	11	大泉町	3
		邑楽町	2
市計	260	町村計	37
合計	297		

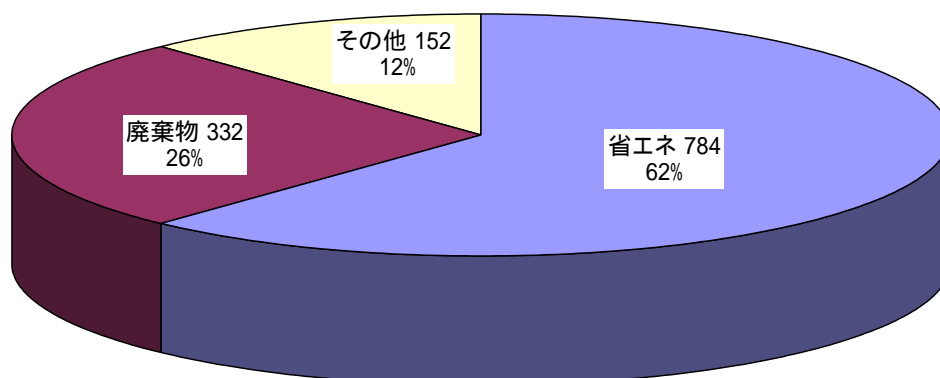
2 取組内容

結果報告に記載された「取組実績・評価欄」については、効果が高かったと思われる取り組みのうち、上位5項目を上限に記載していただきました。報告のあった合計1,268項目の取り組みについて、その内容に応じて図表4のとおり取りまとめました。「省エネ」に関する取り組みは784、「廃棄物」に関する取り組みは332、「その他」の取り組みは152という結果となりましたが(図表5)それぞれの全般的な傾向や特徴的な事例について、以下でご説明いたします。

図表4 取組内容一覧



図表5 取り組みの内訳

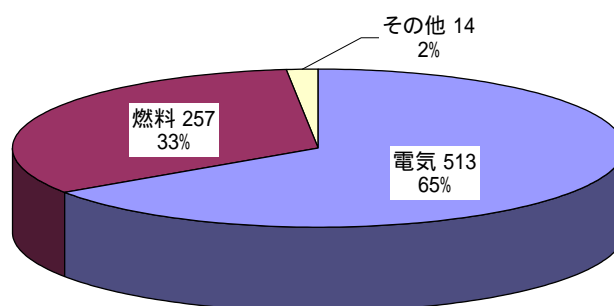


(1) 省エネに関する取り組み

今回、報告のあった1,268項目のうち、784項目と全体の62%を占めたのは「省エネ」の取り組みでした。このうち最も多かったのは「空調設備の温度設定の適正化」「昼休み、不使用場所の消灯」など「電気(節電)」に関するもので(図表6)、「高効率コンプレッサーへの更新」など生産設備の省エネ化や、「エアリーク対策の実施・徹底」などメンテナンスの徹底による省エネの取り組みも多数ありました。

次いで「燃料」消費量の節約に関する取り組みが257件あり、「エコドライブの実施・徹底」「アイドリングストップの推進」など運転方法の改善によるもののほか、「ドライブルートの再検討」「効率的な配車計画」など、車両の走行距離の短縮・合理化に関する取り組みも見られました。その他、特徴的な取り組みとしては、「天然ガス自動車・ハイブリッドカー」などエコカーの導入や、デジタルタコグラフの導入などがありました。

図表6 省エネに関する取り組みの内訳



省エネに関する事例(抜粋)

【電気】

- ・空調設備の温度設定の適正化
- ・昼休み、不使用場所の消灯
- ・高効率コンプレッサーへの更新
- ・エアリーク対策の実施・徹底
- ・ヘチマやひょうたんなど、南窓に「緑のカーテン」を設置して、日射熱取得量を軽減し、夏場の冷房負荷を軽減する
- ・自動販売機を省エネタイプに更新する
- ・パソコンのモニターをブラウン管から液晶に更新する
- ・屋根部分を断熱改修し、断熱性を高め、冷暖房負荷を軽減する

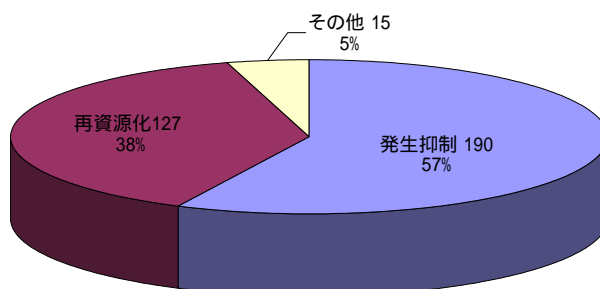
【燃料】

- ・エコドライブの実施・徹底
- ・アイドリングストップの推進
- ・ドライブルートの再検討
- ・効率的な配車計画
- ・天然ガス自動車・ハイブリッドカーなどエコカーの導入
- ・デジタルタコグラフの導入
- ・バッテリーフォークリフトの導入
- ・暖房用薪ストーブの導入
- ・ドライブレコーダー導入による個別指導の実施

(2) 廃棄物に関する取り組み

「省エネ」の次に多かったのは「廃棄物」に関する取り組みで、332項目と全体の26%を占めています。「両面コピーの徹底」など紙の使用量削減による廃棄物の「発生抑制」の取り組みが190件、「社内のリサイクル体制の整備」など発生した廃棄物を「再資源化」しようとする取り組みが127件報告されました(図表7)。

図表7 廃棄物に関する取り組みの内訳



廃棄物に関する事例(抜粋)

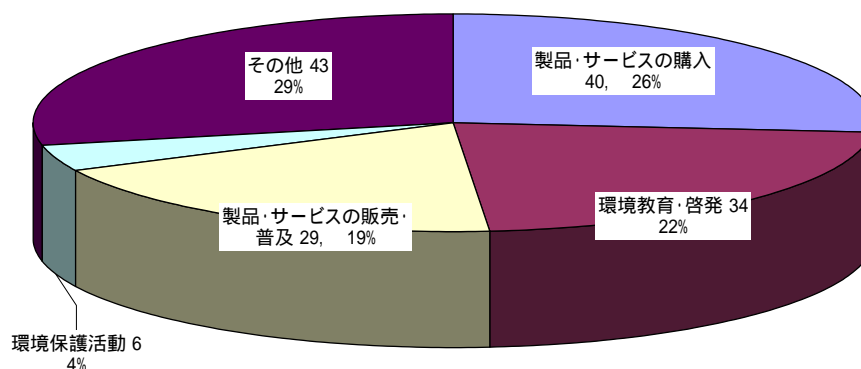
- ・両面コピーの徹底
- ・社内のリサイクル体制の整備
- ・複数回使用できるパレットへの切り替え
- ・マイバスケットの推進によるレジ袋の使用量削減
- ・プロジェクター使用による会議資料の紙使用量削減

(3) その他の取り組み

「その他」に分類された取り組みは152件ありましたが、最も多かったのは「使い捨て商品の購入抑制」や、「グリーン購入の徹底」など、「環境配慮製品・サービスの優先購入」でした。「省エネ製品の開発」や「省エネ商品の販売」など、「省エネ型の製品・サービスの販売・普及」を通じて省エネに貢献するという内容の取り組みも多く見られました。

また、「環境に関する社員教育の徹底」も多数報告され、中には「定期的な環境教育」を実施している例もありました。

図表8 その他の取り組みの内訳



その他の事例（抜粋）

使い捨て商品の購入抑制
グリーン購入の徹底
省エネ製品の開発
省エネ商品の販売
環境に関する社員教育の徹底
生産工程の見直しによる生産性向上
環境配慮商品に関する勉強会の実施
特設コーナーの設置やエンド陳列の配慮によるエコ商品の販売促進

3 取組実績

各認定事業者が設定した評価指標でみると、短期目標については過半数（54%）の指標が目標を達成しています。また、今年度の実績を前年度と比べてみると、80%を超える指標で改善が見られました。

「前年度比で削減となっても短期目標には届かなかった」ケースや、「原単位では削減が進んでいるものの、生産量自体が増えたため総量では増加してしまった」ケースもありますが、8割超の指標で前年度比減という成果が得られ、全体として認定事業者による地球温暖化防止の取り組みの成果がみえる結果となりました。

図表9 短期目標達成割合と前年度実績との増減割合

